

大・中項目評価に関する指標（案）

目標(大項目)				戦略(中項目)						
内容	指標	評価手法	担当	内容	指標	評価手法	担当	参照事項(アウトプット項目)		
I-①大阪の知を拓く	法人は、大阪の都市格の向上に寄与するよう、博物館等における歴史、美術、自然、科学及び科学技術に関する実物、標本、現象に関する資料その他の資料(以下「博物館等資料」という。)の蓄積と人々が学び、愉しみ、育んできた成果を更に発展させ戦略的に発信する。	博物館活動を通じた大阪の都市格の向上 市民の文化的意識の変化	学識者によるワークショップ 文化部	1 活動の基盤をなす人材及び資料等の充実並びに施設及び設備の整備	各館の活動成果の継承及び発展並びに大阪における文化資源の蓄積を図るため、人材及び博物館等資料の充実並びに各館の施設及び設備の整備に取り組む。	資料の充実度	各館担当(学芸課長を想定)から参照事項の中期計画期間の推移を基にした自己評価(ヒアリング)をもとに総合的に評価。(各館自己評価も併記)	局・機構各館	①寄贈・委託数、②保管環境改善状況、③データベース化数、⑦修復数	
					博物館等の魅力を広く伝えるため、各館がさまざまな活動を展開するとともに、他の博物館等、学校、学会、調査研究機関その他の国内外の関係機関と積極的に連携する。	人材の充実度				④専門人材(学芸員)採用数、⑤調査研究(著作・論文数等)、⑨科学研究費補助金等獲得研究数等、
					幅広い活動及び連携を通じた博物館等の魅力の効果的な発信	施設・設備の充実度				
I-②大阪を元気に	法人は、各館が都市に立地するという特徴を活かし、国内外から幅広い利用者を獲得するとともに、各館の周辺エリアで活動するさまざまな事業者等との連携を図ることにより、大阪の活性化及び発展に貢献する。	博物館活動による大阪の観光、経済、産業への波及効果	関係団体へのヒアリング(大阪観光局、関経連または大阪商工会議所、大阪科学技術センター) 文化部	4 ソフトの充実及び利用者の受入れ体制の整備	各館の立地の優位性を活かし、幅広い利用者を獲得するため、展覧会又は展示物に係るソフトの充実及び利用者の受入れ体制の整備を図る。	共催展の充実	各館担当(学芸課長を想定)から参照事項の中期計画期間の推移を基にした自己評価(ヒアリング)をもとに総合的に評価。(各館自己評価も併記)	局・機構各館	②5特別展実施数及び入館者数、※展覧会関係アンケート調査結果 ②6分かりやすサイン等の対応状況、②7多言語表記等対応状況、(②8様々な事業者と連携した広報) ②9文化団体利用及び連携状況	
					各館の周辺エリアの魅力向上のため、近隣の施設及び周辺エリアで活動するさまざまな事業者等と積極的に連携する。	利用者層の多様性				③0近隣施設・事業者等との連携状況、③1近隣施設・事業者等との連携イベント実施状況
					民間企業等との協働等	利用団体の拡大等				
I-③学びと活動の拠点へ	法人は、各館を人々が探究心を抱き、感受性及び創造性を育むことができ、多様な学習ニーズに応えるものとするにより、市民力の向上に貢献する。	生涯学習の場としての役割	学識者によるワークショップ 文化部	7 子ども及び教員等への支援	子どものリテラシーの向上及び教員等のスキルの向上のため、各館の活動における支援メニューの充実に取り組む。	子どもや教員に対応したプログラム等の充実	各館担当(学芸課長を想定)から参照事項の中期計画期間の推移を基にした自己評価(ヒアリング)をもとに総合的に評価。(各館自己評価も併記)	局・機構各館	③5子ども向けプログラムやワークショップ実施件数、③6教員等向け研修会やワークショップ実施件数	
					さまざまな人々の多様な学習ニーズに応えるため、支援メニューの充実に取り組む。	幅広い参加者や学習ニーズへの対応				③7学生等の専門的知識の習得を目指す人の受け入れ人数等、③8一般向け講演会等の実施件数、③9調査研究成果の公開状況、④0デジタル機器の活用等による多言語発信状況
					市民活動に寄与するため、各館の活動への幅広い参画の機会を提供する。	活動に対する満足度や評価				
I-④大阪中之島美術館の開館に向けて	法人は、大阪府北区中之島に建設予定の大阪中之島美術館について、2021年度中の開館に必要な準備業務を行う。	大阪中之島美術館が大阪の文化力向上に必要な施設であるかの評価	来館者アンケート 機構・中之島美術館	10 大阪中之島美術館の開館に向けて	・コレクション展及び企画展の開催の準備 ・新たな博物館等資料の収集 ・博物館等資料の公開に向けた修復及びアーカイブ化 ・開館に向けた機運の醸成 ・大阪中之島美術館とともに運営するPFI事業者の選定	認知度	ウェブアンケート(市実施)	機構・各館	大阪中之島美術館の認知度調査	
		大阪中之島美術館が今後、大阪の都市格向上に重要な施設となるかについての評価			関係団体へのヒアリング(1-②と併せて) 文化部	期待感				ウェブアンケート(市実施)

大・中項目評価に関する指標（案）

目標(大項目)				戦略(中項目)						
内容	指標	評価手法	担当	内容	指標	評価手法	担当	参照事項(アウトプット項目)		
II 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置	法人は、業務運営の改善及び効率化を図ることで、法人の事業の持続的かつ安定的な実施を目指す。	外部監査人や企業診断士等による評価	監査人や企業診断士等へのアンケート調査	11 人材の活用と育成	限られた人材を効果的に活用するため、その確保と適正配置を図る。	職員数の確保	職員数調査	機構・各館	適正配置状況	
				12 評価制度の活用	評価制度に基づく業務改善及び職員のモチベーションが向上するよう、適正な制度の構築及び運用を目指す。	・人事評価制度に対する職員の満足度 ・人事評価の平均値	・職員に対するアンケート調査 ・人事評価の平均値確認	機構・各館	職員の満足度	
				13 ICTの導入及び活用・民間活力の導入	・業務の標準化及び迅速な処理のため、ICTの導入及びその活用を図る。 ・利用者へのサービスの向上及び業務の効率化を図るため、民間活力を効果的に導入する。	・操作者のレビュー ・民間委託業務(接客案内・清掃等)に対する利用者の満足度	・職員に対するアンケート調査 ・利用者アンケート調査(受付・清掃・警備等)	機構・各館	職員・利用者満足度	
III 財務内容の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置	法人は、財務内容の改善を図り、持続可能な事業の実施に必要な資金を確保することで、安定的な経営を目指す。	自主財源比率の向上	財務諸	14 収入の確保	持続可能な事業の実施に必要な資金を安定的に確保するため、各館の収入の増加に努めるとともに、外部からの資金獲得に努める。	法人化後の収入の増減	財務諸表の確認	機構・各館	財務状況調査	
				15 経費の節減	安定的な経営を実現するため、経費の縮減に努める。	法人化後の経費の増減	財務諸表の確認			
IV その他業務運営に関する重要事項の目標を達成するためとるべき措置	法人は、業務を恒常的に維持し発展させることのできる組織を確立するため、リスクを回避できる仕組みを構築し、機能させることで、内部統制の強化に努める。	・内部監査及び監事監査の評価 ・設置者(大阪市)の評価や外部委員(評価委員)の意見	・内部監査及び監事監査の指摘事項(レビュー)の確認 ・設置者(大阪市)の評価や外部委員(評価委員)の意見の確認	16 環境整備	内部統制の確立のため、必要な規程の策定等を行うとともに、その理解を深めるための環境を整備する。	・職員の理解度の向上 ・内部監査及び監事監査の評価	・職員に対するアンケート調査 ・内部監査及び監事監査の指摘事項(レビュー)の確認	機構・各館	職員理解度	
				17 重要なリスク回避のための体制の構築	重要なリスクを回避するため、早期の発見及び対処が可能な体制を構築する。	重大リスクの未然の回避件数	重大リスクの未然の回避件数の確認	機構・各館	回避件数	
				18 利用者等の安全確保	さまざまな人々が快適に利用できるようにするため、各館の施設における安全を確保する。	施設における事故や苦情の発生件数	施設における事故や苦情の発生件数の確認	機構・各館	発生件数	
				19 環境保全の取組み	環境への負荷を低減するとともに、社会の要請に応えるため、環境に配慮した取組みを進める。	環境保全の取組みに対する評価	環境保全の取組みに対する自己評価(アンケート)	機構・各館	環境保全の取組みに対する自己評価(アンケート) 若しくは 大阪市環境局の環境監査総評資料確認	
				20 情報公開の推進	運営状況の透明性を確保し、広く法人の活動への理解及び信頼を得るため、情報公開を推進する。	当該情報利用者の認知度	情報公開請求対応率	機構・各館	市民からの情報公開請求の件数と対応数より、対応率を確認	